

計画事業番号	00648	事務事業名	配水施設改良事業	担当部署	水道部水道施設課	電話	4323
--------	-------	-------	----------	------	----------	----	------

## 【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	水道法第2条第1項			
事務事業開始年度	平成14年度		個別計画等	老朽管更新事業計画(H14～H33)			
〃 終了予定年度	平成33年度						
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	企業会計	補助単区分	単独	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 5 章) 快適な生活環境のまち	
	(第 5 節) 水道の整備	
	(施策 3 ) 施設の維持	
2 対象	老朽化した配水管・水道施設、水道使用者	
3 目的と内容	老朽管更新事業計画に基づき、老朽化した配水管を更新し、漏水事故等の未然防止と有収率の向上を図る。基幹的配水管の劣化度調査及び水道施設更新計画を策定する。	
4 実施内容 (手 段)	28年度まで	配水管の改良については、平成10年度に老朽管更新事業計画書を策定し、平成14年度よりこの計画に基づき事業を実施している。 平成28年度は、配水管改良を L=3,713m実施するとともに、市内全般の配水施設更新計画策定委託を平成29年度までの2か年で実施するとともに、基幹管路内のカメラ調査を行った。
	29年度	昨年と同様であるが、平成29年度は、配水管改良を L= 3,349mの施工を予定し、引き続き配水管内カメラ調査を実施する。 今後の水道施設の改良・更新について水道施設更新計画を昨年から2か年で策定している。

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
配水管更新工事 水道施設更新計画策定委託	配水管更新工事 水道施設更新計画策定委託	配水管更新工事 水道施設更新計画策定委託		配水管更新工事		配水管更新工事	

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性			評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。			「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	現状継続とする。			
2次評価	現状継続	現状継続とする。			

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			144,743		170,744		96,312		167,786	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	144,743		170,744		96,312		167,786	
	① 合計	144,743		170,744		96,312		167,786		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	2.80	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	23,520	0	16,800	0	16,800	0	16,800	0	
総事業費①+④			168,263		187,544		113,112		184,586	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①改良延長(工事延長)	目標値	m	3,738	4,324	5,157	4,010
		実績値		4,273			
	②更新延長(更新された管延長)	目標値	m	2,275	3,349	2,360	3,151
		実績値		3,713			
③更新延長累計	目標値	m	75,757	77,794	80,154	83,305	
	実績値		79,209				
④	目標値						
	実績値						
成果指標	① 老朽管更新事業の達成率	目標値	%	77.9	82.8	85.1	88.3
		実績値		79.1%			
	②	目標値					
		実績値					
③	目標値						
	実績値						

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	北広島市水道事業が事業主体で、水道利用者に安心・安全な水道水を供給するためには必要な事業であり、事業の有効性・公平性は確保されており貢献度は大きい。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	事業施工地区の本管漏水事故件数は減少しており成果は上がっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	給水管切替箇所を公道内で行っているため、メーターまでの給水管の漏水事故を考慮すると、メーターまでの給水管切替が有効と考えられ、今後の検討が必要と思われる。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	水道管はコスト高の耐震管により施工しているが、その種類については管径や重要度を総合的にに関して管種を決定している。また、管径については将来給水を考慮して適切の見直しなどコスト縮減も行っている。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	---	------------------------------------

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--